

第2回 11番藤井寺～19番立江寺まで 月日：3月2日（土）～4日（月）

四国あるき遍路の旅

徳島＝発心の道場

十七番
井戸寺



6：25羽田空港集合。

7：25羽田発、ANA531便。

8：55徳島空港着。徳島駅への連絡バスを待たせ、9：25徳島駅着。

9：36発の電車にぎりぎり間に合い、府中（こう）駅に行く。グループ割引切符で心持安かった。

9：48府中駅着。「井戸寺はあっちだよ」と教えられる。

第1日目、明日の山越えを前に、十七番井戸寺から十三番大日寺に向けて、いざ出発。

人家も多い平坦なみち。初めて参加の人は、四国のへんろ道はこんなものかと安易な考えが頭に浮かんだかも…。

十六番
観音寺



観音寺
山門前にて



観音寺の山門は車が行き交う道路際に建っています。聖武天皇勅願道場として創建されたといわれています。

住職の久々の雲水姿もなんとか様になっているようです。

十五番
国分寺



その昔、国府が置かれたところに
建立された六十六の国分寺の一つ。

広大な寺域を持つ曹洞宗のお寺で
した。

向かいにあった興禅寺は妙心寺派
のお寺。お参りしたら、住職があわ
てて出てきました。

四街道の清久寺さんの同級生との
ことでした。

国分寺本堂前にて。

大師堂は、焼失したらしく、お大師さん
はちいさなお堂に仮安置してありました。



十四番常楽寺の裏山の東屋にて。

途中で買ったパンやおすしをほおぼり
ました。空腹と疲れとおいしい空気もご
ちそうでした。

十四番
常楽寺

十四番常楽寺のご本尊は、四国唯一の
弥勒菩薩です。また、流水岩の庭という岩
盤の上に建っているお寺として有名です。

本堂前の栢の木の又に安置されている
仏さんがかわいかったですね。



十三番
大日寺



ようやく第一日目の最後、十三番大日寺に到着しました。到着時間は2時少し過ぎ。ここまでの歩いた距離は、約10キロ。明日の山越えにちょうどいい準備体操になりました。



第二日目

6:20 偕楽園出発。徒歩にて徳島駅へ。

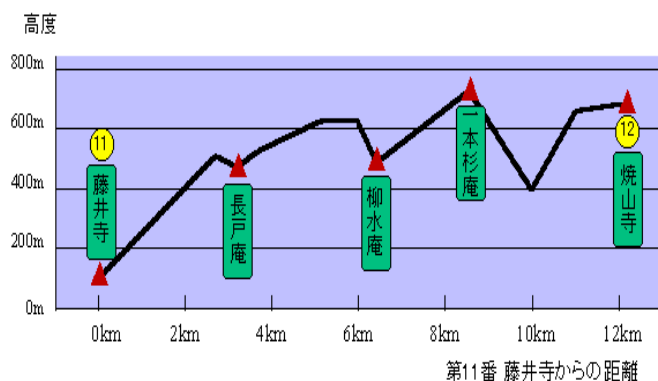
6:55 徳島駅発。「剣山1号」にて、鴨島駅へ。

7:11 鴨島駅着。いよいよ、今回のクライマックス。十一番藤井寺～十二番焼山寺までの山越えのへんろに挑戦。

十一番
藤井寺



十一番藤井寺は、妙心寺派のお寺。タクシー組三人とはここでお別れして、六人のあるき組はいざ山越えに出発。高低差約六百メートル、距離十二キロのアップダウンである。



杉木立の中のへんろ路にて

一本杉庵



柳水庵でお茶のお接待をいただきながら、おにぎりの昼食を済ませる。

稲田さんが足首の故障を訴え、電話でタクシーを呼ぶも、そこまで歩いたんだったら十二番まで行きなさいとの受話器の声。あとで思えば、受話器の向こうにいたのはお大師さんだったかも・・・。

左の写真は、十一番～十二番の途中、最高地点に位置する「一本杉庵」。

あとは下りだけ？と思ったのもつかの間、十二番への最後の登りはチョーハード。元気なのは、雨海さんだけでした。

ようやくたどり着いた焼山寺。十一番から約七時間、よく歩きました。

山門前の石段でパチリ。

山門をくぐるとタクシー組が手を振ってお出迎え。感動の再会でありました。

十二番
焼山寺



焼山寺宿坊にて。

心配していた飲み物もあり、満面の笑顔の稲田・平山両氏。



第三日目

- 5:00 起床。就寝は前夜の午後七時半。疲れてバタンキューでした。
清水さん曰く、「爆睡とはこのことか！」
- 5:45 宿坊のご好意で早めの朝食。
- 6:20 焼山寺宿坊出発。まだ明けやらぬなか、徒歩一時間かけて焼山寺前バス停へ。
- 7:25 神山町営バスにぎりぎり間に合う。神山町寄井で徳島バスに乘換、徳島駅へ。
- 8:58 徳島駅着。
- 9:14 徳島駅発。牟岐線で南小松島、そして、十八番・十九番を目指す。



恩山寺前
バス停にて



南小松島から約五キロ。恩山寺前のバス停に着き、ちょっと一休み。ここから、お寺まで七百メートル。

かつては女人禁制のお寺だったそうです。現在は、女人の大好きな大判焼の屋台まで出ているお寺になりました。

十八番
恩山寺

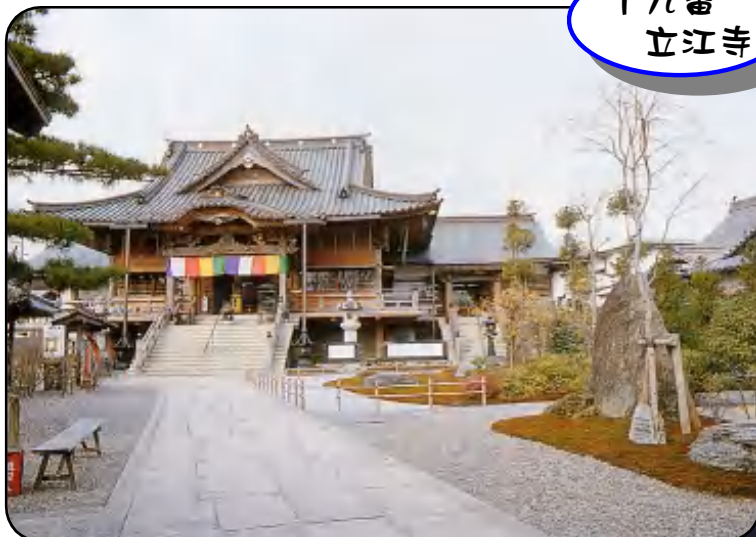


参道の途中に、一袋百円のみかんが売られていました。スーパーで買うみかんとちがい、甘さだけでなくほど良い酸っぱさが疲れたからだにしみわたりました。

「ところで、昼めしは？」と、平山さんが心配し始める時間になっていました。



十九番
立江寺



恩山寺から約五キロ。ここはへんろ路が消え、車が行き交う道路の端を歩かなければなりませんでした。

門前に食堂があると聞いた平山さんは、急に歩くピッチが上がりました。

門前でうどんに舌鼓。お品書きの「クロソバ」は、日本そばのことだと店の老婆が説明してくれました。

立江駅発13:32の電車にまたまたぎりぎり間に合い、徳島に戻りました。

振り返ると、電車・バスもぎりぎり間に合う綱渡りのへんろ旅、ついでに予算もぎりぎり間に合いました。



おつかれさまでした。
また、ごいっしょしましょう。

合掌



第二回のデータ

回った札所：十一番藤井寺～十九番立江寺

歩いた距離：約32km

(ホテルなどへの歩きは含まず)

登った石段の数：不明

平山さんが声を掛けた人の数：多数